

## 伊勢崎高等学校 第1学年通信

第6号 令和3年9月8日発行  
一年二学期始まりました。

二学期が始まり、一週間が過ぎました。分散登校かつオンライン授業と、例年と異なることだらけのスタートでした。先週の半ばは、通信が安定せず、時間をずらすなど柔軟な対応をさせていただきました。

そんな中ではありますが、始まってしまえばそこは学校。登校するのは半分の生徒ですが、生徒たちは、不便の中にも一生懸命勉強し、友達と触れ合う姿が見受けられました。また、ソーシャルディスタンスをしっかりととり、昼食は黙食。そんな生徒たちの姿をたくましく思っている今日この頃です。

いつもと違う学期の始まりにあたり、生徒諸君及び保護者の方にお問い合わせの点があります。まず、生徒のみんなには、これから先の状況が見えずに、先のことを考えて不安になるかもしれません。ですが、わからないことを考えて不安になるのではなく、まず目の前にあること、日々の学習に集中して取り組みましょう。予測できない未来を考え、悲観するのではなく、今日を、明日を、一日一日を充実して過ごしましょう。その先に未来があります。そして、未来を考えるのであれば、楽しい未来を思い浮かべましょう。

保護者の方には、生徒の心と体のケアをお願いします。思春期真っ只中で中々コミュニケーションも取りづらいかもかもしれませんが、このような状況の中ですので、不安を抱えている子供たちを励まし、また体調管理に注意を払ってください。今更言うことではないのは、重々承知ですが、改めてお願いいたします。

### ヘルメットの装着について

令和2年度群馬県交通安全条例改正に伴い、県立学校では、令和3年度2学期（9月6日）より自転車乗車中のヘルメット着用が、県下一斉に開始しました。

開始したばかりですが、今のところ本校では、概ね着用して登校する姿が見られます。命に係る自転車事故が多く、ヘルメット着用が求められるようになりました。学年主任も普段ロードバイクで通勤していますが、ヘルメットは必ず着用しています。以前、いわゆる「立ちゴケ」というやつですが、停止する直前で砂にタイヤを取られ、どうすることもできなく、転倒してしまったことがあります。そのときも頭を打ったのですが、ヘルメットのおかげでケガはありませんでした。代わりに腕時計が大破してしまいましたが。それ以来、ヘルメットは絶対にしています。自分の身を守る意味でも、自転車には、必ずヘルメットです。

### 学年主任面談はじめます。

二学期より学年主任面談を始めます。生徒一人一人と、学年主任が面談を行います。一年生のうちでは、難しいですが三年間（目標は二年生の二学期まで）で全員と面談を行います。

学年主任は実際のところ、中々じっくり向き合う時間はとれません。学年主任である長谷川は、全員の生徒と、時間を取り、じっくり話をしたい。話をした上で、その生徒にあわせた、主に進路指導になりますが、指導をしていきたいと考えています。

ですので、時間はかかりますが、全員と面談し、コミュニケーションを図りたいです。場所と時間については、担任を通してお知らせしていきますので、ご協力ください。よろしく申し上げます。